

手術前後に注意が必要なSGLT2阻害薬一覧

SGLT2阻害薬を服用していると、インスリンが中断されても血糖上昇を伴わないまま**ケトアシドーシス**が進行し、発見が遅れて重症化する恐れがあります。

ケトアシドーシスは周術期におけるストレスや絶食により惹起され、周術期患者の約30%に認められています。

術後、摂食が十分できるようになってからSGLT2阻害薬を再開し、再開後は**ケトアシドーシス**の症状に留意下さい。

当院の内科としては、下記に示す休業期間を目安として、周術期指示を行っています。

休業またはインスリン治療へ切り替えるなど適正な周術期血糖コントロールをお願い致します。

また、血糖コントロール不良で判断の難しい場合は、事前にかかりつけ医または当院糖尿病内科へコンサルト下さい。

※休業期間はあくまでも目安ですので、緊急の場合などは主科のご判断でご対応お願い致します。

薬品名	成分名	休業期間
スーグラ錠	イプラグリフロジン	手術前3日間
フォシーガ錠	ダパグリフロジン	
ルセフィ錠	ルセオグリフロジン	
デベルザ錠	トホグリフロジン	
カナグル錠	カナグリフロジン	
ジャディアンス錠	エンパグリフロジン	
カナリア配合錠	テネリグリプチン/カナグリフロジン	
スージャヌ配合錠	シタグリプチン/イプラグリフロジン	
トラディアンス配合錠AP	リナグリプチン/エンパグリフロジン	
トラディアンス配合錠BP	リナグリプチン/エンパグリフロジン	

参考文献

公益社団法人 日本糖尿病協会 SGLT2阻害薬の適正使用に関する Recommendation

薬剤部・糖尿病内科作成 2020年5月20日 作成
2021年8月1日 改定
2022年8月31日 改定